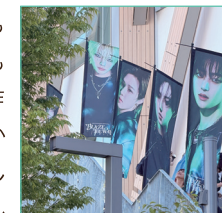


こんにちは、おすぎです。いかがお過ごしでしょうか？  
はじめてIGアリーナに行って興奮した話です。



はじめてIGアリーナに行きました。以前より何かあったら行きたいと思っていたんですが、最近新しく推しが出来まして、なんと愛知でライブがあるというので、一週間くらい悩んだ末、IGアリーナ観てみたいし行ってみようかと参加を決めました。フツ軽で飛び込むところが私の良いところなので…。工事中しか見たことがなかったので、駅から出た時に、え！こんなに綺麗でおしゃれな建物あったっけ？と混乱しました。しかも目の前ではこの日、ビーチバレーの大会が行われていて、ここでできるんだ？！と驚き、方向音痴の私は以前の名城公園を思い浮かべながら配置関係が訳がわからなくなっていました。いざIGアリーナに入ったら、とにかくめっちゃ綺麗でおしゃれ。トイレの空きもアプリで確認できるし、売店はたくさんあるし、31アイスはすぐ買える。しかもスタンド席が前の人に全く被らないので見やすくて快適。不思議なのが広いのに、体感近く感じる作りをしているところ。あとサブアリーナのクーラーの効きがとにかく良い！暑かった日なので、助かりました。待ち時間は周辺で過ごすには人が多すぎるので、黒川に移動して駅前で快適に過ごしました。皆さん移動する時は栄方面に行くので、反対方面で過ごすとかでいいですよ。そんなこんなで快適に楽しんで帰りました。またIGアリーナでライブ観たいな。試合を観るのも最高でしょうね！今まで行ったアリーナで一番でした！

今回の学び IGアリーナは愛知の誇りです



新しい推しグループです

アジアを代表するデュオ

CHAGE vol.11  
and ASKA



私はASKAファンというよりチャゲアスのファンなので、今回はみなさんにCHAGEについても知ってもらいます。チャゲといえば、チャゲアスの「ハモリの方」と言われがちですが、ただのサイドボーカルだと思ったら大間違いです。どうしても作詞・作曲や圧倒的な歌唱力で注目されるASKAに目が向きがちですが、**楽曲の魅力を支えているのはチャゲの唯一無二の存在**です。優れたコーラスワークに決して主旋律を邪魔することない透明感とみずみずしさを持ち合わせた独自のハイトーンボイスで、楽曲に厚みや広がりを与え、ASKAの歌声をより印象的に響かせています。その絶妙な距離感と表現力がチャゲアスならではのサウンドを支えているんです。

CHAGEはシンガーとしてだけでなく作曲家としても才能を発揮しています。誰もが知ってる石川優子とのデュエット曲「ふたりの愛ランド」に始まり、MULTI MAXのデビュー曲「SOME DAY」はチャゲが長年暖めていた名曲で、**これを聴いたASKAがその楽曲の完成度に嫉妬した**というのは、ファンの間では有名な話です。その他、万里の河、モーニングムーン、終章（エピローグ）と言われる名曲はASKAが作る楽曲のような派手さはなくとも、CHAGEの親しみや包容力のある歌声で、物語を語りかけるような温かさが溢れています。

実はもう一つデビュー前、ASKAに誘われて出場した『第15回ヤマハポピュラーソングコンテスト福岡大会』ではそれぞれソロのアーティストとして出場した二人。その成績は、**CHAGEが「グランプリ」**でASKAが「最優秀歌唱賞」つまりCHAGEがNo.1だったんです。そんな私も二人の歌声の区別もつかない小学生の頃は、この曲好きって思って繰り返し聴いていた曲が実はチャゲの楽曲だったりしたことも多く、CHAGEの優しい歌声に小学生ですら心奪われていました。

現在、Chage (68歳) は精力的にソロ活動を行っていて、夏のツアー『ChageLiveTour2026 One Love』を控え、シンド・カフカとのコラボプロジェクト「シンド・チャゲ」としても活動中です！

二人ともまだまだ現役なので、ファンはいつかの復活を夢見て…

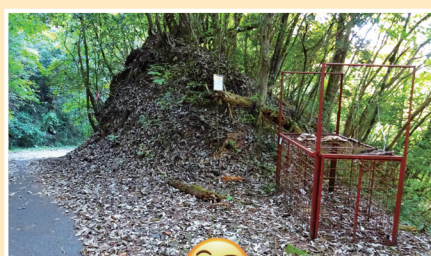
## カントリー道路



ずっと ゆけば…  
いよいよヤツらが身近になっている気がする



田舎道では、  
今や熊鈴の  
携帯が推奨されています。



自動車、バイク、徒歩に比べて自転車は圧倒的に静音なので、カーブを曲がった先で**ぱったり！**って危険度も増すのだそうで…

平田

## よもやまばなし

### 文月：朝顔の間

7月です。いかがお過ごしですか。今年の夏こそ夏っぽいことをしてみせます。部屋を夏仕様にしたりとか。カーペットを青にしたりとか。ござ系のもの置いたりとか。そう思って4年くらい何もしてません。みなさまも思い思いの夏をお過ごしください。暑い暑い言ってるだけだともったいないですよ。

### 7月にラーメン？

さて7月である。またクソ暑い日々がやってくるのである。寒いのは着込みゃなんとかするが、暑いやつはどーも脱げつつ脱ぐに脱げないものもあるからなあ。困ったもんである。ところで諸君！7月11日は何の日だかご存知か？タイトル見てピン！ときた人もいるかもだが、「ラーメン」の日なのである。なんでも「7」がレンゲで「11」が箸なんだそうで、このクソ暑い時節「冷やし中華」ならまだしもあの熱々の「ラーメン」なのである。2007年に日本ラーメン協会なるものが決めたらしく、ほんっとに記念日を作るのが好きな民族である。（11月7日でもよくね？）古くは室町時代に「経帯麺」という今のラーメンと似たものが食べられたという記録があり、また江戸時代にはあの水戸の御老公様が「中華麺」と呼ばれていたものを「カーッカーッ」と笑いながら(?)食べたという記録が残っているらしいのである。庶民に普及するものになったと言われているのが明治時代の「浅草來々軒」の「支那そば」とや一名でデビューさせたのが始まりと言われているので、「ラーメン」とや一名の由来は「拉麺(ラーミエン)」という言葉からできたという説が有力で、「拉」は手で伸ばす、「麵」は小麦粉で、「手で伸ばして作る麵」とや一ことでそーや一名にしたらしいのである。「ラーメン」とや一名が全国区になったのは意外と最近で、「日清のチキンラーメン」が全国発売されたことで知名度があがったらしい。そー言えばおいちゃんの子供の頃は「中華そば」とか「支那そば」とかお店のメニューに書いてあったのが主流だったなあ。最近では海外なんかでも日本のラーメンは人気が、わざわざ日本にラーメン食べに来るインバウンド客もすくなくないとか。もうすっかり日本の誇るソールフードである。しかし何だね。酒飲んだ後のシメの「ラーメン」のムシヨーに食べなくなるのって、どーしてだろーねえ？

